

(食料品)

●食料品

中国醤油醸造協同組合

当月の出荷量は前月比▲34.8%、前年同月比+3.9%。売上高は前月比▲35.1%、前年同月比+20.5%となった。

広島県東部菓子商工業協同組合

売上は順調だが、原材料等は依然として値上がりしている。加えて、人件費も上がり更なる負担になってきている。

(繊維工業)

●繊維工業

一般財団法人広島県織物工業会

暖冬の影響も有り、売上や収益は前月比、前年同月比ともに減少している。原材料の高騰なども改善せず業界全体として厳しい状況が続いている。

(木材・木製品)

●木材・木製品

広島県木材協同組合連合会

【全国】

- ・12月の新設住宅着工戸数は64,586戸で前年同月比▲4.0%、季節調整済年率換算値では814千戸(前月比+3.1%)となった。利用関係別では、持家は17,031戸で前年同月比▲13.8%、貸家は25,869戸で▲3.6%、分譲住宅は21,320戸で+5.5%、また木造住宅は35,730戸で前年同月比▲4.4%であった
- ・住宅着工動向の前年同月比は、持家の減少が25ヵ月連続となり、貸家の減少が5ヵ月連続、分譲住宅は7ヵ月ぶりの増加となった。木造住宅は一昨年4月以降21ヵ月連続の減少となっている

【広島県】

- ・県内の12月の着工戸数は1,296戸で、前年同月比+16.2%、うち持家は333戸で▲15.1%、貸家は527戸で+46.4%、分譲は425戸で+17.1%であり、県全体の住宅着工戸数や延床面積は増加しているが、持家の減少は続いている
- ・プレカット工場の稼働は、住宅向けの加工需要が昨年10月以降減少している。今後は、住宅の省エネ性能の向上、物流費の上昇等により住宅の高価格化が進むことが想定される

(印刷)

●出版・印刷・同関連

広島県印刷工業組合

業界全体としては、材料費の値上りなど厳しい状況が続くと予測される。

(化学・ゴム)

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

先月から特に変化はない。能登半島震災による影響は少ない。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

- ・自動車関係は、売上が減少傾向にあり、それ以外は、横ばい傾向。
- ・材料単価が上昇して、益々材料費率が高くなる傾向にある。また、電気代・その他経費は、増加傾向にある

(窯業・土石製品)

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

- ・出荷状況
 - 令和6年01月 2,182 m³ (対前年比80.6%)
 - 令和5年12月 3,123 m³
 - 令和4年12月 2,708 m³
- ・令和5年度想定数量
760,000 m³

広島県西部砕石協同組合

人員不足と鉱脈の状況により採掘量が低下。更に燃料、部品・修理代等のコストアップを十分に価格転嫁できず、収益は悪化した。

昨年5月のG7広島サミットによる規制を受け、5月度の売上高の大幅減少を発端に、資金繰りが悪化している。

(鉄鋼・金属製品)

●鉄鋼

鋼鉄協同組合連合会

- ・業況は昨年末ごろから今年に入り、若干落ち気味のように感じる
- ・政治に対する安定感が欠けているように思われる

●一般機械

(一般機械器具)

広島県東部機械金属工業協同組合

売上は前月比+5.0%、前年同月比は▲6.0%となった。また、日工会が発表した12月の工作機械受注実績は前年同月比▲9.6%の1,270億8,800万円となった。内需では、精密機械に係わる分野が伸びるなど、半導体製造装置関連の先行投資が見られた。加えて、車部品関連も増加した。

(電気機械器具)

広島県東部機械金属工業協同組合 (電気機械器具)

売上は前月比▲15%、前年同月比▲25%となった。機械装置の売上減少が要因。

(輸送用機器)

●輸送用機械器具 (自動車)

東友会協同組合

マツダの生産は市場の国内・海外とも需要は盛んで順調に増えている状況。但し、新型車(CX-60/CX-90)は品質確認で12月から一時的に生産が滞っており、3月まで回復に時間を要することが想定されるが、全体的には北米の堅調な需要に支えられている。

(1月度自動車国内販売動向)

全需は335千台、前年同月比▲12.4%と17ヶ月振りに減少。(登録車は▲5.5%、軽自動車は▲22.9%)、マツダ車は▲33.8%と減少。マツダ車の内訳は登録車▲43.3%(7.2千台)、軽自動車+5.9%(3.2千台)。

(12月度自動車海外販売動向)

アメリカの全需は1,280千台で、前年同月比▲0.5%と3ヶ月振りに減少。マツダは+44.8%と、前年同月比は2ヶ月連続で増加となった。

欧州の全需は1,129台で、前年同月比▲8.7%と2ヶ月連続で減少。マツダは▲0.1%と微減となった。

中国の全需は2,584千台で、前年同月比+1.1%と3ヶ月連続で増加。マツダは▲3.6%と4ヶ月振りに減少となった。

マツダの12月の海外販売は、東南アジアや中東で落ち込み、欧州は微減だが、北米でカバーした状況である。合計台数は95.6千台、前年同月比+16.5%と増加となった。

(12月度自動車輸出・生産動向)

マツダの輸出台数は、前年比+19.5%と増加。国内生産台数は、回復してきており、前年同月比で+4.6%と増加となった。

●輸送用機械器具 (造船)

中国地区造船協議会

県内、2,500総トン以上の令和5年12月の船舶建造許可実績は3隻、149,040総トンであった。(前月3隻106,100総トン、前年同月1隻4,530総トン)なお、内訳は、輸出船が3隻で貨物船であった。

(一社)中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化は無い。

(卸売業)

●卸売業 (総合)

協同組合広島総合卸センター

- ・年明け早々に発生した能登半島地震の影響はない。また上部団体である商団連からも北陸・新潟に所在する商業団地組合では大きな被害は出ていないとの報告を受けている。お亡くなりになられた方にご冥福をお祈り申し上げるとともに被災者に対し心よりお見舞い申し上げたい

- ・今年に入り2024年問題の影響から物流の停滞や人手不足による影響が日に日に増している。さらにコスト上昇分が収支に影響し、月次ベースでは赤字企業も散見されてきている。国家をあげて賃上げの機運が高まっているものの、大半の組合員は賃上げ分の価格転嫁は難しく、盛り上がりには欠けるのが実情
- ・資金面ではコロナ融資の返済が本格化してきたことで、資金繰り面は一層厳しさが増しており、公租公課の滞納等も発生している

●卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

1月に入ってもケーブルの不足が深刻な状況が続いている。また、4月より再度資材の値上が行われる状況で、建築業界への影響も心配される。

●卸売業（畳・敷物）

広島県畳製品商業協同組合

当月の取扱高は、びんご特撰が前年比97%でほぼ前年並み、JAS畳表はマイナスとなった。11月と12月は需要増加で多少持ち直しはあったものの、全体の取扱高は前年比84.2%と依然厳しい状況が続いている。

（小売業）

●各種商品小売業

広島生鮮三品連絡協議会

- ・当月の中央市場水産部の取扱高は寒波等の天候不順により水揚げ量が頭打ちになったが、単価上昇により売上高は上昇した
- ・中央市場青果部の取扱高については、野菜や果実ともに出荷量が減少し、売上高は減少した
- ・食品小売業者の多くは電気・ガス代などの水道光熱費や人件費の増加分を、経営努力だけでは価格転嫁できず、利益率の低い体質と相まって、赤字や減益から脱却できていない

協同組合三次ショッピングセンター

前年は仮店舗営業であったため今期は前年売上を大きく上回るが、新店舗への投資や新たに発生する経費負担が多い為、売上は上がっても収益は良いとは言えない状況である。昨年1月は1週間雪が続いたが今期は天候が良く客数は安定していた。

●その他小売業（燃料）

広島県石油商業組合

暖冬の影響で、季節商品である灯油販売の落ち込みが激しい。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

令和6年1月度販売実績93%（前年同月比）。AV商品89%、白物商品105%、薄型テレビ96%（内有機EL97%）、DVD86%、冷蔵庫114%、洗濯機97%、IHクッキングヒーター90%、エコキュート102%、エアコン113%、炊飯器106%、電子レンジ100%、掃除機117%。

家電商品が普及し新規需要が望めない状態。さらに国内家電メーカーの商品陣容の縮小に歯止めがかからず、海外製を販売しているが品質で問題となっている。今後は家電以外で利益確保をしていくことがポイントだと思われる。

（商店街）

●商店街（各種商品小売業）

呉本通商店街振興組合

- ・呉中央地区商店街の活性化に向けて、若手経営者の参加による「どうする商店街90会議」を11月から立ち上げている。1月15日に第2回会議が開催された結果、3月にSNSサイトを立上げて、毎週水曜日に起業者インタビュー、季節ごとの商店街イベントや商店街活動紹介、お店紹介や街の魅力発信などを投稿することになった
- ・1月18日、福山市商連・福山販売士協会のメンバー及び福山商工会議所職員の合計15名の視察団が、呉本通商店街の視察に来られた。人材育成事業「広島・呉視察研修会」として、広島本通商店街に続いて訪問されたもので、商店街を視察され、呉のB級グルメの購入や、写真撮影などが行われた

（サービス業）

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

- ・車検台数は、前月比▲17.5%、前年比+4.9%
- ・車検場収入は、前月比▲16.5%、前年比+5.7%
- ・重量税・登録印紙税の売上は、前月比▲4.6%、前年比▲19.6%

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

大型案件などもあり、売上については増加しているが、閑散期でもあり全体的には落ち着いた状況である。

●情報サービス

一般社団法人広島県情報産業協会

電子部品の入手難ほぼ解消された。製造業の回復にはもう少しかかる様子。

(建設業)

●工事業

広島県室内装飾事業協同組合

カーテン、敷物、壁装クロスの3品目合計について、当月は前月比▲17.6%、前年同月比▲18.5%となった。先月全体をけん引していたカーテンが今月は半減した。依然として大型物件の受注は少ない。

福山地区電気工事業協同組合

官庁関係からの大幅な受注増加により、当月分の受付件数は、826件で前年同月比347%となった。

神辺建設業協同組合

人材不足が顕著な状況にある。

(運輸業)

●道路貨物運送業

広島東部トラック運送事業協同組合

- ・1月の売上高は前月比が減少、前年同月比が増加となった
- ・軽油価格は政府の補助金の増額により値下げとなった
- ・2024年問題に対して運送業者としてどのように乗り越えて事業を継続していくか厳しい状況にある

松永地区トラック事業協同組合

1月の売上高は、前月比、前年同月比ともに大きな変化はなかった。全体的に荷動きが悪く、特に関西、中部、関東方面からの復路貨物が少ない。しかし、空車回送する訳にはいかず、運賃が少々安くても、岡山、広島であれば積載している状態。年間を通じて1月・2月は荷動きが悪いが、今年のように顕著ではなかった。

中国カーゴ軽自動車運送協同組合

年末の繁忙期ということもあり、一時的にコロナ渦前の活況に戻っている。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

- ・船員の高齢化が進み船員不足である
- ・若年船員が育たない
- ・運賃や用船料の改善がみられない

(その他)

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

- ・1月は売上や景況感ともに前月比では変わらないが、2月は一般鑑定の入金等があるので売上等は増加する見込み
- ・前年同月比についても、変化はない。今年度は固定資産評価の公的評価作業が無い分収入は減少する見込み
- ・不動産市場については、商業地域での売買が、金融機関の融資規制で依然として減少している。マンション販売については、近時新築マンションの建築・販売が増えているが、建築価格の高騰等で販売価格がかなり高くなっている(市内中区の一般的な70㎡程度の物件で、4,500万円～6,000万円程、2、3年前の1,000万円高)。中古マンションについては依然として販売価格が高値で推移している